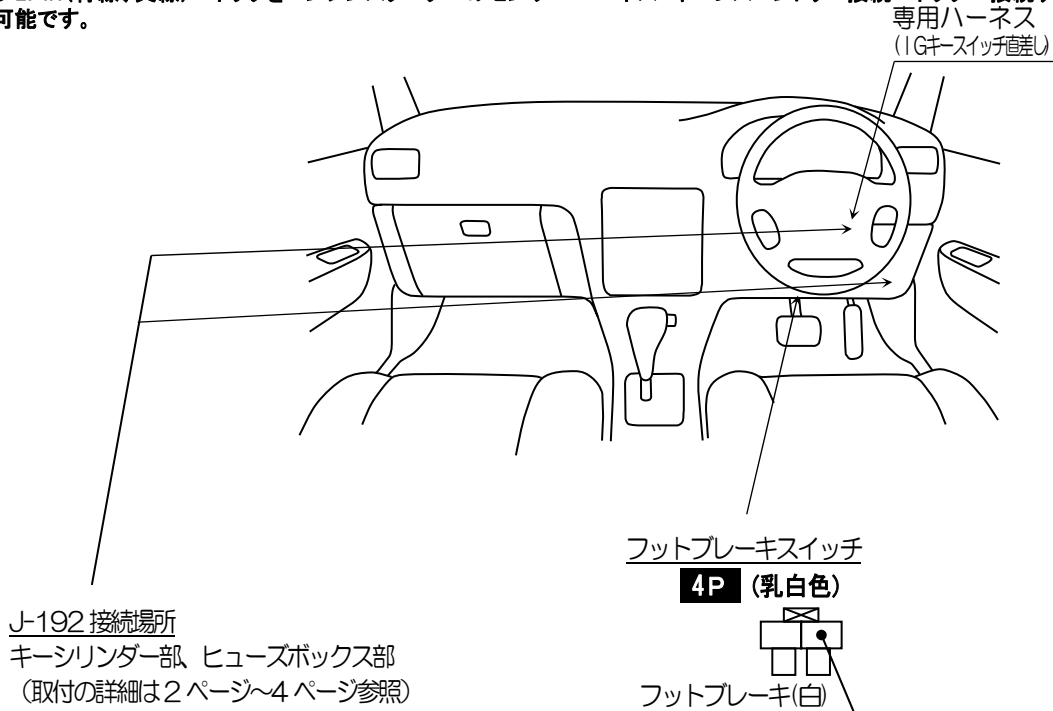


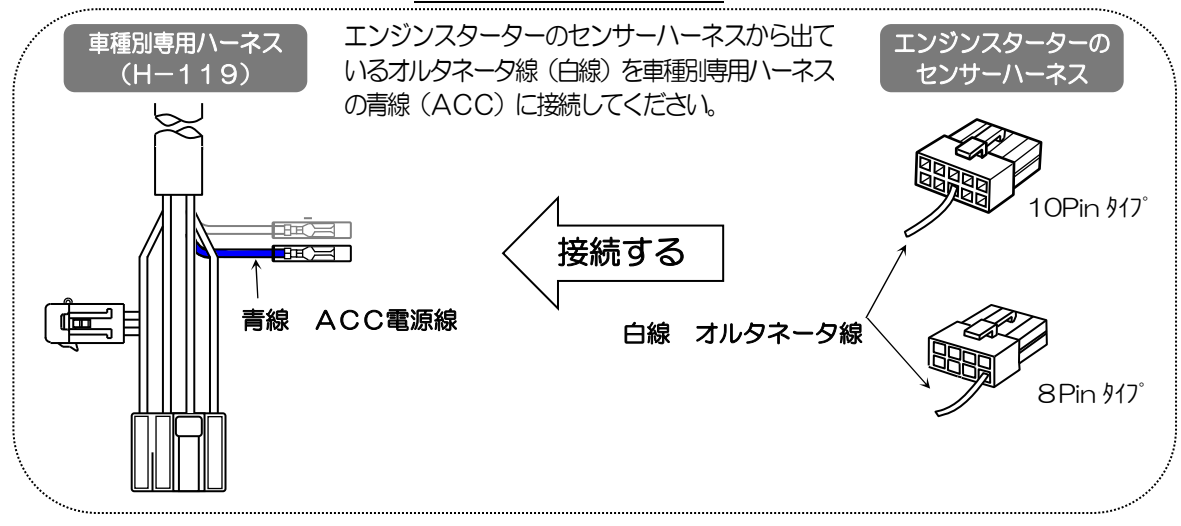
車種別接続情報

メーカー	ホンダ	車体型式	GP3
車種	フリード ハイブリッド フリードスパイク ハイブリッド (スマートキー 装備車)	年式	H23.10~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192		

- スマートキー無し車は接続情報が異なります。
- エンジンモビライザー対応のエンジンスターター (VE-E33,E34,E35,E1,E1kty,E2,E21,E22,E23,E24,E200R,E220R,ZP1,VET-E25,E130R,E133R,E150R,E155R,E50RY,E300R,E330R 除く)のみ取り付け可能です。
- P・ポジション自動検出機能は使用できません。
ブレーキ検出線(茶)をフットブレーキスイッチ配線に接続してから、ブレーキペダル操作でのP・ポジション自動検出の設定を行ってください。
- エンジンスターターの設定項目でIG設定をIG1に変更してください。
- エンジンスターターの設定項目でグロー時間を2秒に変更してください。
- オルタネータ線(L端子)の接続が必要です。
車種別専用ハーネスの電源取り出し用のACC(アクセサリ)配線(青線)に接続します
- ターボタイマー機能は、使用できません。
- ドアロック機能を使用する場合、別売品は必要ありません。
J-192の2Pin(青線、黄線)コネクタをエンジンスターターのセンサーハーネス キーレスエントリー接続コネクタへ接続するとドアロック制御が可能です。

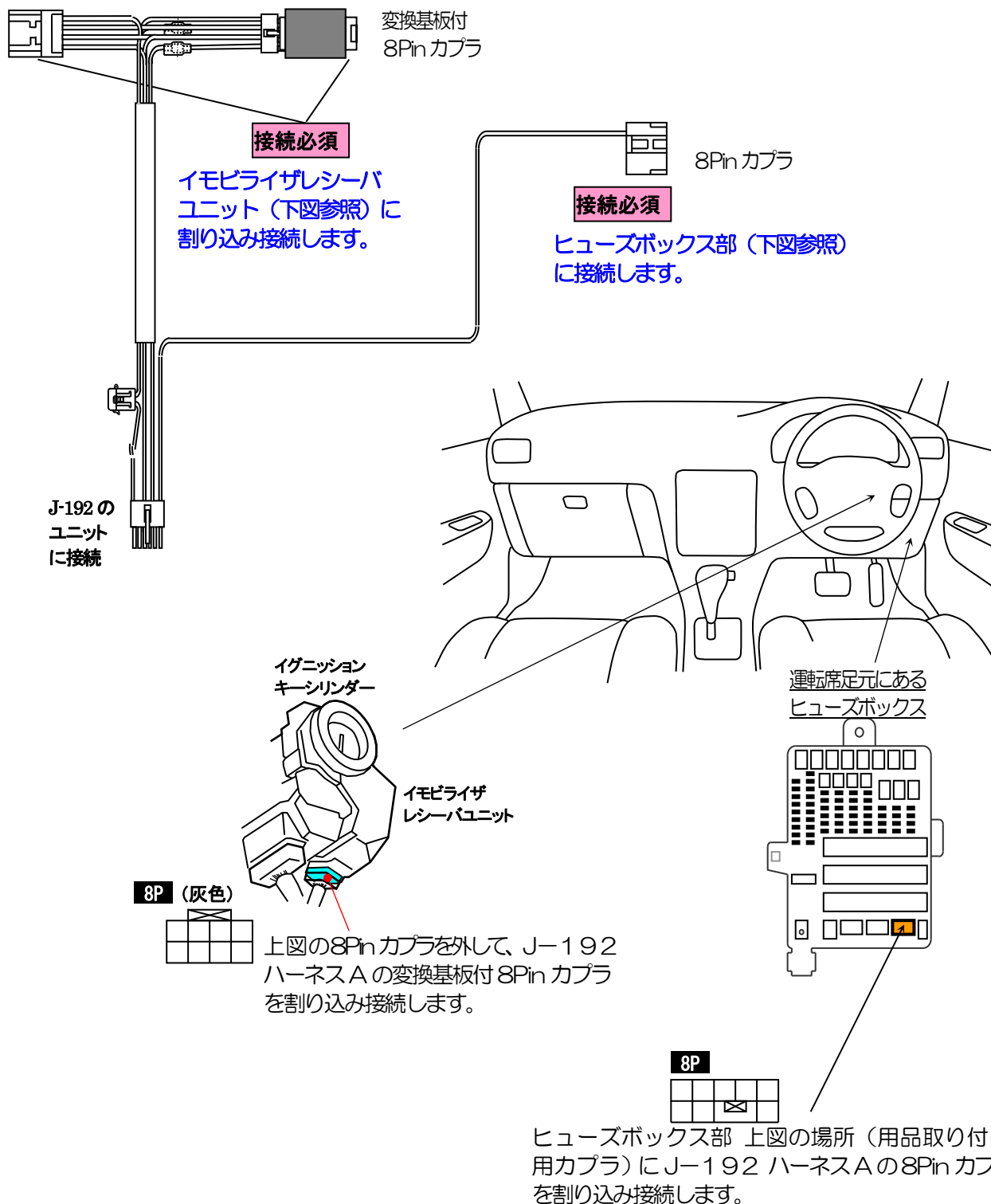


オルタネータ線の接続



メーカー	ホンダ	車体型式	GP3	
車種	フリード フリード ハイブリッド スパイク ハイブリッド	(スマートキー 装備車)	年式	H23.10~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192			

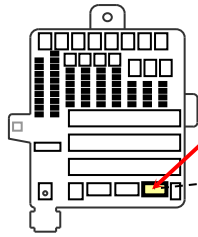
J-192 ハーネス A の接続



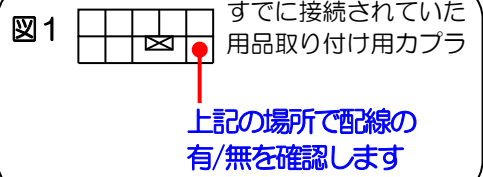
すでに用品取り付け用カプラが接続されている場合は、3ページを参照ください。(J-192 ハーネス A 8Pin カプラ の接続について)

J-192 ハーネス A 8Pin カプラ の接続について

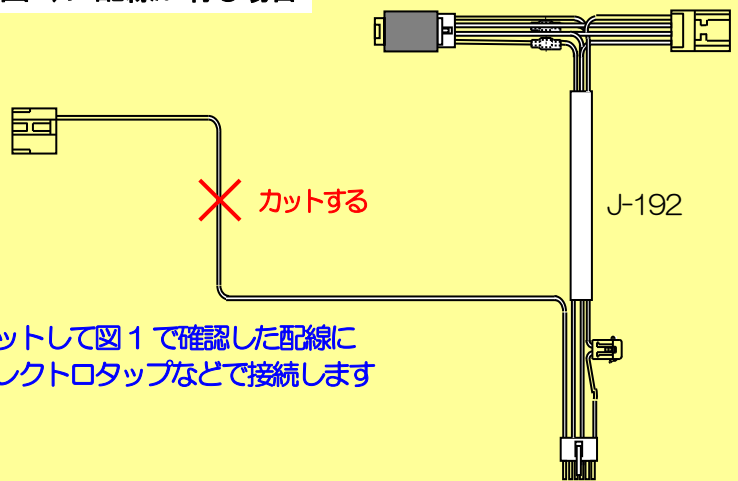
すでにヒューズボックス部 8Pin カプラ(用品取り付け用カプラ)が接続されている場合にご覧ください。
※ヒューズボックス(下記)の場所が、空きカプラの場合、このページの内容は必要ありません。



この場所にすでにカプラが接続されている場合の接続方法となります



●ヒューズボックス部 8Pin カプラ(図1)に配線が有る場合

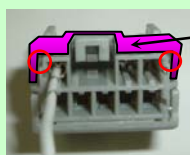


●ヒューズボックス部 8Pin カプラ(図1)に配線が無い場合

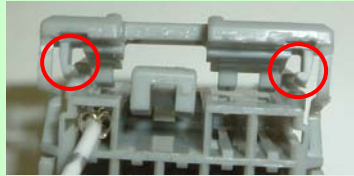
J-192 ハーネス A 8Pin カプラより配線を抜き、車輛側のカプラに差し替えます

<端子付配線の外し方/接続>

1.リテーナを外す(浮きあげる)



リテーナ
(紫部分)



赤丸部分にツメがあり、外側に広げるとリテーナが浮き上がります



2.ピンセットなど先の細い物を写真の位置に差込み、配線を抜く



端子とツメの間(赤線部分)に、先の細いピンセットなどを差し込むと端子のロックが外れます

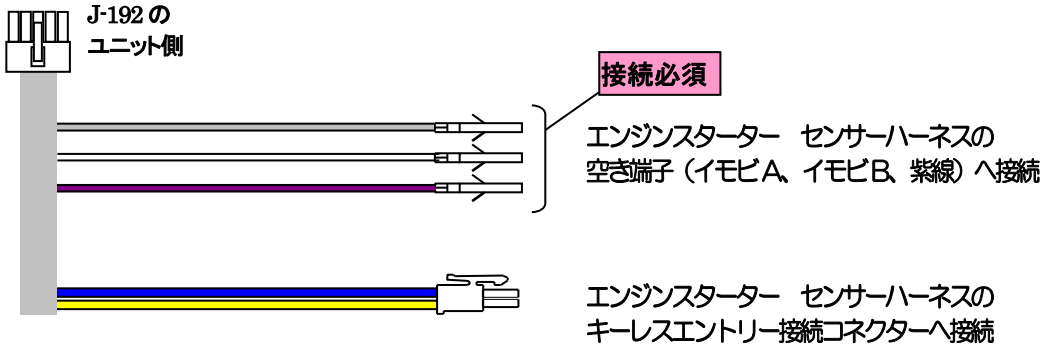


3.ヒューズボックス部にすでに接続されているカプラを一度ヒューズボックスから外し、リテーナを上記、1.の手順で外す

4.2.の手順で外した端子つき配線をすでに接続されているカプラの図1の位置にきちんと差込み、リテーナを元にもどして、カプラをヒューズボックスに差し込む

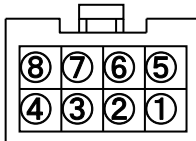
メーカー	ホンダ	車体型式	GP3
車種	フリード ハイブリッド フリード スパイク ハイブリッド (スマートキー 装備車)	年式	H23.10~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192		

J-192 ハーネス B の接続



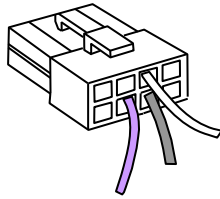
*** 接続を行うと、エンジンスターターのドアロック機能(ドアロック/アンロック操作)がご使用できます (J-192 の取り付けを行うことでドアロック機能が可能となるため、ドアロック機能用の別売品は不要です)**

センサーハーネスが8ピンタイプでの接続

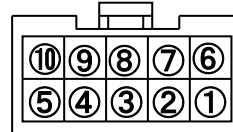


スターターユニットの
センサーハーネス
(コネクター-2) が
8ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑥ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ③ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。

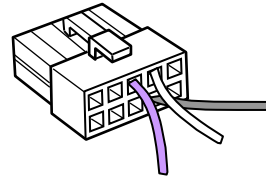


センサーハーネスが10ピンタイプでの接続



スターターユニットの
センサーハーネス
(コネクター-2) が
10ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑦ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ⑧ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。



イモビ対応アダプターJ-192の登録

登録の前に

J-192の登録を行う前に、必ず、エンジンスターターで次の設定を行ってください。

• **Pポジション検出**（ブレーキペダル操作での設定方法を行います）

その後、以下の手順でJ-192の登録作業を行います。

J-192のID登録手順

イモビID登録作業は、ドアがアンロックの状態で行ってください。

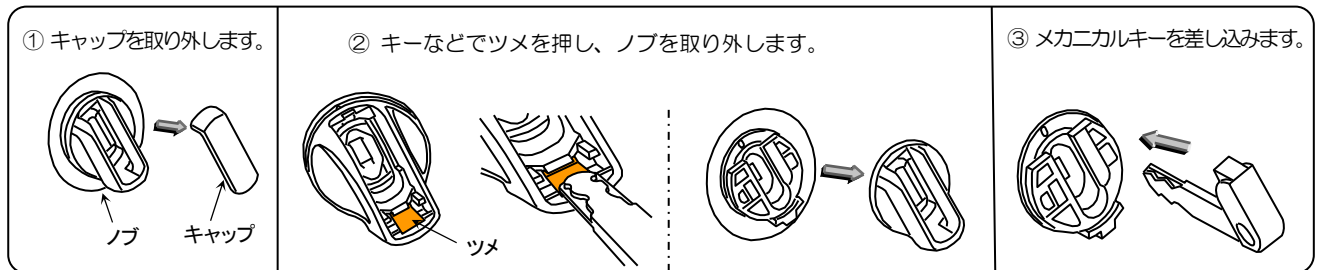
1 キーシリンダーに**メカニカルキー**を差し込みます。（差し込んだままにします）

IDが未登録のとき（初めて取り付けしたとき）は電源をONと同時にLEDが赤点滅します。

【スマートキー装備車の場合】

メカニカルキーを差し込むためキーノブを外す必要があります。下記の手順でキーノブを外してください。

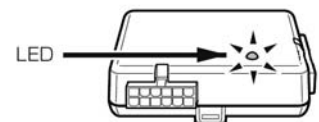
イグニッションキースイッチ・ノブの外し方



2 エンジンスターターのリモコン操作でエンジン始動を行います。

LEDが赤点滅 → 緑点滅 → 消灯することを確認します。

* 緑点滅動作は短時間で行われ、消灯に変化します。



3 エンジンスターターのリモコン操作でエンジンを停止し、キーシリンダーからキーを抜き取ります。

LEDが変化しない場合、配線の接続先を確認し、再度、**1** から登録作業を行ってください。

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。

車種別接続情報

メーカー	ホンダ	車体型式	GP3
車種	フリード ハイブリッド フリード スパイク ハイブリッド (スマートキー 装備車)	年式	H23.10~H28.9

フリード ハイブリッド、フリード スパイク ハイブリッド (スマートキー装備車) で
エンジンスターターをご使用されるお客様へ

エンジンスターターで始動を行うと、下記の動作が伴います

- 自動的にエアコンの設定温度が 25℃に設定され動作します。
- 外気温が低温時 約 7.5℃以下の場合、デフロスターも自動的に動作いたします

*降車する時、エアコンがOFFの状態でも、エンジンスターターでエンジン始動を行うと自動的に
エアコンの設定温度が 25℃で動作します。

*J-192を使用した時の動作仕様であり、正常動作となります。

また、エンジンスターターでのエンジン始動に伴うオートエアコンの動作は、以下の操作で
ON (自動動作する) / OFF (自動動作しない) を変更することができます。

● エンジンスターターでの始動時に伴う、オートエアコンの ON /OFF の設定方作

設定を行なうには、メカニカルキーが必要となります

<手順>

- キー (メカニカルキー) をキーシリンダーに差込み、10 秒以内にキーを ON の位置まで
回し OFF に戻す操作を 5 回繰り返します

*同じ手順を再度行なうと、エンジンスターターでのエンジン始動時にオートエアコンが
自動的に 25℃に設定され動作するようになります。

ワイパー制御アダプター取り付け情報

管理 No. H-0092

メーカー	ホンダ	車体型式	GP3
車種	フリード ハイブリッド フリード スパークハイブリッド (スマートキー 装備車)	年式	H23.10~H28.9

ワイパー制御アダプター J-12

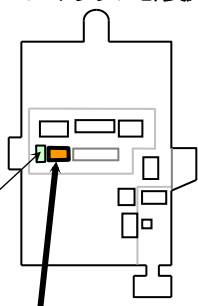
注意事項

J-12の取り付け場所は、ヒューズボックス裏側になり、接続位置のすぐ近くには、エアバックのコネクターがあります。
安全に作業を行うために、バッテリーのマイナス端子を外し約3分経過してから作業を行ってください。
 エンジンルームにある12Vのバッテリーは、車両電装品の電源となっています。
必ず、エンジンルームにあるバッテリーのマイナス端子を外してください
 また、車両後方に設置されている高電圧バッテリー（100V）には、絶対に触らないでください。

なお、エアバックのコネクターがショートするとエアバックが作動する恐れがあります。
 取り付け作業時には、車両の安全装置や運行装置の動作に支障の無いよう配線の引き回しを行ってください。

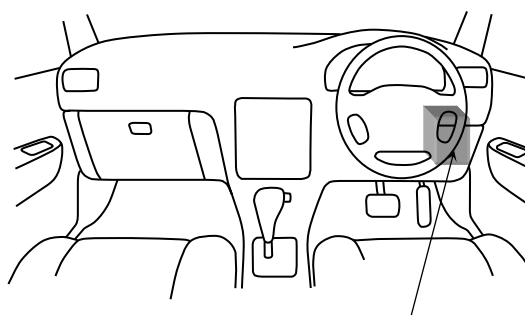
取り付け場所

ヒューズボックス部裏側

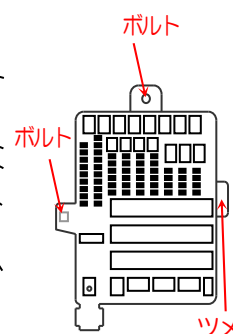


J-12 接続位置 (16Pin カプラ 白色)

<注意>
 エアバック用 コネクター (黄色) が隣にあります。
 コネクタ (黄色) を外さないように作業を行ってください。
 コネクター内の端子がショートするとエアバックが開く恐れがあります。



ヒューズボックス部

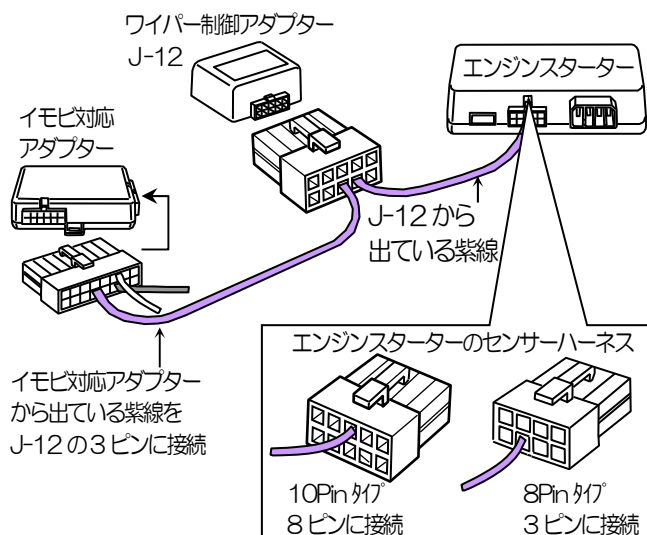


ヒューズボックスを固定しているボルト2箇所を外し、右側面に有るツメ1箇所を外すと、ヒューズボックスが手前に傾きます。
 ヒューズボックスの裏側に接続されているコネクタを確認し、エアバック用のコネクタ (黄色) に注意し作業を行ってください。

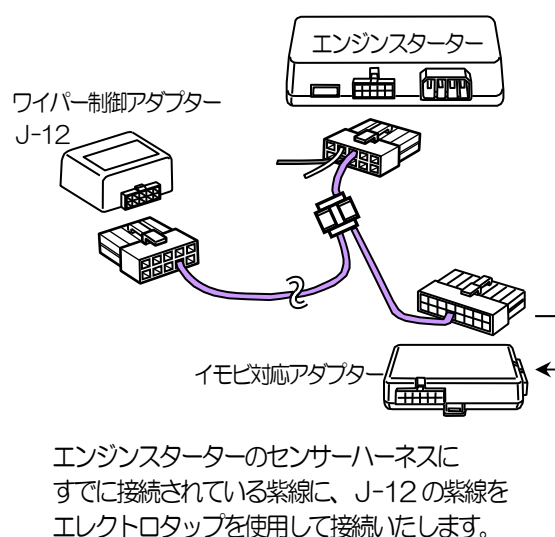
配線接続方法

J-12 から出ている赤線は常時電源へ接続し、紫線は下記の接続方法となります

<新たにエンジンスタターを取り付ける場合>



<すでにエンジンスタターを使用している場合>



YUPITERU

Y16-0916

※ 車両によっては、上記の内容と異なる場合があります。取り付けの際は、必ず電圧などの確認を行ってください。